

最新情報を手に入れよう!

関西大学 学部案内 2026

FACULTY OF HEALTH AND WELL-BEING

人間健康学部

人間健康学部 ホームページ

人間健康学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには「人間健康学部ホームページ」をご確認ください。学部の特色や卒業生の声、「学生的一天」などのキャンパスライフ情報など、人間健康学部に触れるここだけの情報が充実しています。



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック! \



関西大学の最新情報をチェックしよう!

LINE 関西大学 入試センター 公式アカウント



友だち登録はこちらから!

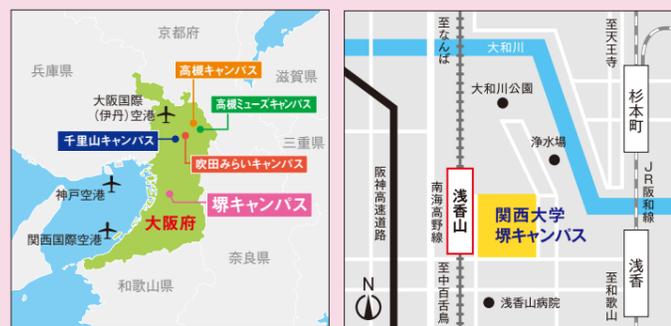
Instagram 関西大学 入試センター 公式Instagram



X 関西大学 入試広報グループ 公式 X



YouTube 関西大学 入試センター 公式YouTube



南海電鉄でのアクセス
南海高野線「浅香山」駅(なんば駅から約20分)下車、すぐ。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス
JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で、「なんば」駅下車、南海高野線に乗り換え「浅香山」駅下車、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス
大阪国際空港から空港リムジンバスでなんば駅前下車、南海高野線に乗り換え、「浅香山」駅下車、すぐ。

人間健康学科

スポーツと健康コース
福祉と健康コース

こころ、からだ、くらしを「健幸」にする学び

well-being



CONTENTS

学部長メッセージ	01
人間健康学部8つの魅力	03
スポーツと健康コース	05
福祉と健康コース	07
人間健康学部のカリキュラム	09
国際的な学び	09
キャリアデザイン	11
人間健康学部で取得できる資格	11
就職実績	12
卒業生インタビュー	12
キャンパスカレンダー	13
堺キャンパス紹介	13
教員紹介	14

関西大学人間健康学部をめざす皆さんへ

「健幸」を通じて、より良く生きる社会をつくる

人間健康学部では、「健康(Health)」と「健幸(Well-being)」を学びの中心テーマに掲げ、教育・研究、地域連携活動に取り組んでいます。

では、「健幸(けんこう)」とは何でしょうか? 「健幸」とは、「健康」と「幸福」を組み合わせた造語であり、単なる身体の健康にとどまらず、心身の健康とともに、人生における幸福を追求する考え方です。人が幸せで豊かな生活を送るためには、まず「からだ」の健康が不可欠です。しかし、それだけでは十分ではありません。ストレスへの適切な対処を含む「こころ」の健康や、生活環境に関わる「くらし」の問題にも取り組むことが重要です。

本学部では、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的に捉え、個人の健康や幸福だけでなく、すべての人が健やかで幸せに暮らせる社会の実現をめざしています。そのために、多様な専門領域を横断的に学び、理論と実践を組み合わせながら「健幸」を探究していきます。

「健幸」を軸とした学びを通じて、自らの可能性を広げ、社会に貢献できる力を養ってください。本学部での学びが、皆さんの未来を切り拓く一歩となることを願っています。



人間健康学部長
弘原海剛 教授

Follow Me!!



Instagram
はじめました!!



人間健康学部

Q&A



みなさんからのよくある
ご質問にお答えします。

下記の二次元コードからアクセス!



人間健康学部 8つの魅力



魅力

1

体験学習で互いにささえあう経験を積む 初年次教育

体験学習法を取り入れた、人間健康学部独自の少人数教育を通して、自分とは異なる考え方や感じ方をもつ人々と関わりながら、他者を尊重し、互いにささえあう経験を積んでいきます。



魅力

2

興味を深く追求できる

スポーツと健康コース
福祉と健康コースの2コース

2年次生より、自身の興味や関心に応じて「スポーツと健康コース」もしくは「福祉と健康コース」に所属し、さらに専門的な学びを深めていきます。



スポーツと健康コース ▶ P.05へ

福祉と健康コース ▶ P.07へ

魅力

3

興味・関心に応じて自由に受講できる副専攻 人間健康学プログラム群

スポーツと健康コース、福祉と健康コースの2つのコースに関係なく、4つのプログラムから興味・関心に応じた授業科目を自由に受講することができます。



▶ P.09へ

魅力

4

各国の“well-beingのまなび”を体感 学部独自の留学プログラム

現地の施設などへ訪問し、国際的な「健幸(well-being)」について理解を深めることができる学部独自の留学プログラムを実施しています。



▶ P.09へ

魅力

5

資格取得に強い！保健体育科教員・社会福祉士をめざす絶好の環境

中学校教諭
一種免許状
取得者数 **57人**

高等学校教諭
一種免許状
取得者数 **61人**

社会福祉士
国家試験
合格率 **92.2%**

▶ P.11へ

※2025年3月卒業生実績

魅力

6

堺キャンパスのある堺市と連携協力し、「ささえあい」・「かかわりあい」の文化を学ぶ実践教育を重視する、多彩な地域連携事業



堺コッカラ体操



音楽と運動で楽しく脳を活性化！ 「堺コッカラ体操」

人間健康学部と堺市との地域連携事業の一環として開発された「堺コッカラ体操」は、楽しく脳を活性化できる運動プログラムです。座ったままでもできる低強度の運動で、音楽のリズムに合わせて体を動かすことで、誰でも気軽に取り組み、認知機能の向上が確認されています。この体操は、一人でも、みんなと一緒に楽しめるのが特徴です。健康づくりには、楽しく続けられる環境が大切です。堺コッカラ体操は、体育館だけでなく、音楽や照明を生かし、まるで舞台のような空間で楽しむ「劇場型体操」として進化しています。エンターテインメントの要素を取り入れ、運動がもっと楽しくなる新しい形の健康プログラムです。



あたらしい遊びの場



子どもの心身の成長と「居場所づくり」を支援

村川研究室では2017年から子どもたちの「心身のウェルビーイング向上」をめざし、子どもたちが思いきり身体を動かしのびのびと遊ぶことのできる「あたらしい遊びの場」を行っています。堺市のいろいろな地域の小学1年生から6年生の子どもたちが同じ場所に集まり、安心安全に遊びながら楽しく身体を動かすことで、仲間意識が芽生え精神的成長にもつながっています。この活動を通して学生たちは、多様な子どもたち一人ひとりを大切に作る場づくりの方法を学び、堺市だけでなく他地域での活動に挑戦したり、その経験を生かした不登校支援プログラムに関わっています。

→ このほかにもたくさんの地域連携事業を実施しています！

魅力

7

堺キャンパスを拠点に多彩な 課外活動団体が活動中！

課外活動団体に
所属する学生 **277人**
2024年度入学生 **330人**
※2024年4月現在

堺キャンパスを拠点に活動する団体

- BLACKYZ(ダンス)
- Bumps(バスケットボール)
- 関西大学 K.S Hearts(サッカー・フットサル)
- 関西大学軟式野球サークル HUMANS(軟式野球)
- がんば FLY HIGH(バレーボール)
- WEVO(ボランティア)
- いろは。(軽音楽)
- socios(バドミントン)
- p.t. KAYMO(舞踊・創作ダンス)
- TC Allegrone(テニス)
- 関西大学人間健康学部 準硬式野球部
- 人間健康学部祭典実行委員会(学園祭の企画・運営)
- 体育会 ソフトボール部女子 ※2025年5月現在



人間健康学部祭典
実行委員会

スポーツと健康コース
2年次生
高野 虎二郎さん
埼玉/私立春日部共栄高校出身

私たちは、小さなお子さんから大人まで幅広い世代に楽しんでもらえるように、地域密着型の学園祭開催をめざして1~2年生を中心に活動しています。2024年度の堺キャンパス祭では、「お笑いライブ」を初めての試みとして開催しました！学外団体との交渉や各担当部局の進捗状況や意見をまとめていくことの難しさはありますが、事務局と連携を取りながら進めています。地域とのつながりやささえあいを大切に、より大勢の地域住民の方にも来場していただける「堺キャンパス祭」をめざしています。



魅力

8

就職に強い！

公務員・教員採用試験や社会福祉士合格者も多く、学部での学びを生かした就職・進路を選択する者が多いのが特徴です！

就職率

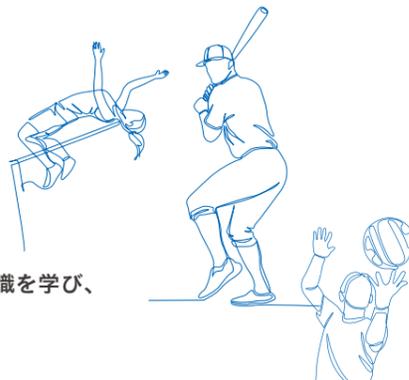
99.7%

▶ P.12へ

※2025年3月卒業生実績

スポーツと健康コース

スポーツと健康コースでは、スポーツをはじめとする身体活動を通じて、人々が健康で幸せに暮らせる地域づくりに貢献できる人材の育成をめざします。身体に関する文化的・科学的な基礎知識に加え、健康や「健幸づくり」に必要な幅広い知識を学び、実践力と自ら行動する力を兼ね備えた人材を育成します。



PICK UP 講義

生涯スポーツ論

「スポーツを楽しむ」とはいったいどういうことでしょうか。年齢や体力、ライフステージによってスポーツへの関わり方や楽しみ方はさまざま、さらには個人の志向、好み、ニーズによって多彩に変化します。さまざまなスポーツへの関わり方や楽しみ方を学び、それらを効果的に啓発・推進し、個人および集団(市民)のスポーツ活動から多様な社会的便益を生み出すための推進策や方法論について学びます。



運動処方実習

「スポーツ生理学」で学んだ、スポーツ時における筋肉や神経、呼吸や心臓などの身体の反応や仕組みの知識をもとに、各種運動負荷試験の測定法やデータの評価方法、運動プログラムの作成や運動指導法など、個人にあった適切な運動を処方するために必要な知識や技術を実験・実習を通して実践的に学びます。



スポーツ動作の仕組みと制御

体育やスポーツの分野における走運動、力強い運動、巧みな運動などさまざまな身体運動を取り上げ、力学、生理学、解剖学などの基礎知識を応用して、各種運動の仕組みについて理解を深めていきます。また、各種スポーツ技術や身体技法などについて映像資料を基に、より実践的な学びを進めていきます。



スポーツと健康コース 4年次生
富田 紗妃さん
広島/県立広島井口高校出身

競技から学び、研究を競技に生かす
幸せな4年間を過ごせました。

体育科の教員免許を取得できるカリキュラムと、地元を離れて一人暮らしを経験したいという希望もあって、人間健康学部に入學しました。入学後は体育会陸上部に加入して、高校時代から打ち込んできた400m競走を継続しながら、学部で学ぶ知識や考え方を自分の競技に生かしてきました。3年次からは、スポーツ心理に関するゼミを選択。例えば、集中力が極めて高まり、自分の感覚だけが研ぎ澄まされた状態を「ゾーン」と言いますが、ゼミ生のアスリートたちがそれぞれの経験を語り合いました。ゼミ活動を通して、競技と自分の関係性を客観的に見ることができ、スポーツに打ち込んだ4年間が自分を形作っていることを実感できました。

スポーツをはじめ多様な
経験を経て、自分らしい将来を
選ぶことができました。



▶ 富田さんの4年間の学び

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>体験学習を通して信頼できる仲間ができた。</p> <p>はじめは知り合いがない状態でしたが、体験学習を行うスタディスキルゼミが大きな転機に。クラスのみならずささえあい、一つの目標をめざすことで、信頼し合う仲間ができました。</p>	<p>メンタル面がスポーツに与える影響の大きさを実感。</p> <p>スポーツと健康コースを選択し、スポーツ心理学を受講。競技力を高めるために有効とされる、ルーティンやセルフトークの重要性を学び、陸上部の競技にも生かすことができました。</p>	<p>初めて知ることばかりだった介護等体験学習。</p> <p>教職課程の一環で介護等体験学習に参加。日ごろ接しない場所に飛び込むことで、聴覚障がいのある子どもへの配慮や、認知症の高齢者との交流の難しさなどを初めて知ることができました。</p>	<p>民間企業に内定。チームで成果を出す社会人へ。</p> <p>卒業後の進路選択の一つとして、教育実習を経験。その結果、自分は教える立場よりも、チームの一員として協調性を発揮する方が向いているとわかり、民間企業への就職を決めました。</p>

富田さんの時間割をwebでも紹介しています。



保健体育科教員をめざす

現職の教員をキャンパスに招いて実技指導や講演会を開催するなど、教員採用サポートが充実!



将来の職業イメージ例

■ 保健体育科教員(中・高) ■ 小学校教員 など

スポーツと健康コースでは、スポーツの技術指導だけでなく子どもたちが生涯にわたってスポーツに関わるような資質を育てる授業を企画できる教員の育成や学校と地域との連携をコーディネートしたり、子どもたちの悩みにも相談に乗ることができるカウンセラーとしての役割も担える教員養成をめざしています。また、教職相談室では、教員を志望する学生のみなさんを支援するために、教職に関するさまざまな情報を提供しており、学校現場の現状や課題を熟知した実務経験豊富な担当教員が教員採用試験に向けてのアドバイスや教員採用試験模擬面接を行っています。



DATA 教員免許取得者数 ※2025年3月卒業生実績
中学校教諭一種免許状 **57人** / 高等学校教諭一種免許状 **61人**
教員採用試験合格者数 ※2025年3月卒業生実績 **12人**

福祉と健康コース

福祉と健康コースでは、これまでの社会福祉のあり方や実践を人間の生活環境と健康との関係からとらえ直し、地域コミュニティにおける福祉文化の構築などの諸課題の解決に挑んでいきます。社会福祉に関する基礎理論と実践的なアプローチから福祉専門職として個人や家庭の生活課題の解決を支援し、福祉コミュニティ創りに寄与できるソーシャルワーカーを養成します。



PICK UP 講義

ソーシャルワーク演習

この講義では、社会福祉専門職に求められる相談援助に必要な知識と技術を学びます。児童虐待や高齢者の在宅介護など、相談援助における課題別のケース検討を通して、基本的視点やアプローチを学ぶとともに、少人数でのワークを通じて、援助過程の理解を深めます。最終的には総合的かつ包括的な実践活動に必要な知識の習得をめざします。



高齢者福祉論

日本では、諸外国と比較しても急速なスピードで人口高齢化が進行しており、介護問題をはじめとするさまざまな問題が発生しています。人口高齢化の要因とその社会的影響、高齢者の生活実態、介護予防、認知症ケア、高齢者福祉・介護制度の発展過程、介護保険制度など、日々刻々とニーズが増大する高齢者支援について検討し、高齢者保健福祉の基本的知識を学びます。



子ども家庭福祉論

子どもが生まれながらに備えている「生きる力」を伸ばす支援をするために、今の親子が置かれている虐待や貧困、障がい、待機児童といった社会状況について学んでいきます。また「子ども家庭福祉」という概念が出てきた背景や内容、政策動向などについて理解を深めます。



福祉と健康コース 3年次生
岩崎 晴人さん
兵庫/私立神戸龍谷高校出身

失敗を恐れずにアクションを続けた経験を卒業論文にまとめています。

困っている人を支えるための知識を学びたいと思い、福祉を学べる人間健康学部へ。入学後すぐに感じたのは、受け身で学習する授業が少ないことです。複数の学生で話し合っ活動する機会がたくさんあり、さまざまな意見に触れながら考えを深めていけることが分かりました。在学中は主体的に動くと思い、2年次は空き家改修のプロジェクト、3年次は空き家改修と農業活動を行う団体の設立に力を注ぎました。また、3年次には、福祉事務所の実習に参加。生活保護を受ける方の生活歴を知り、何をすることが相手の幸せにつながるのかを1カ月間考え続ける貴重な経験ができました。卒業後はケースワーカーとして、人々を支えたいと思います。

社会福祉士をめざすための

知識と経験が得られる

最高の環境です。



▶ 岩崎さんの4年間の学び

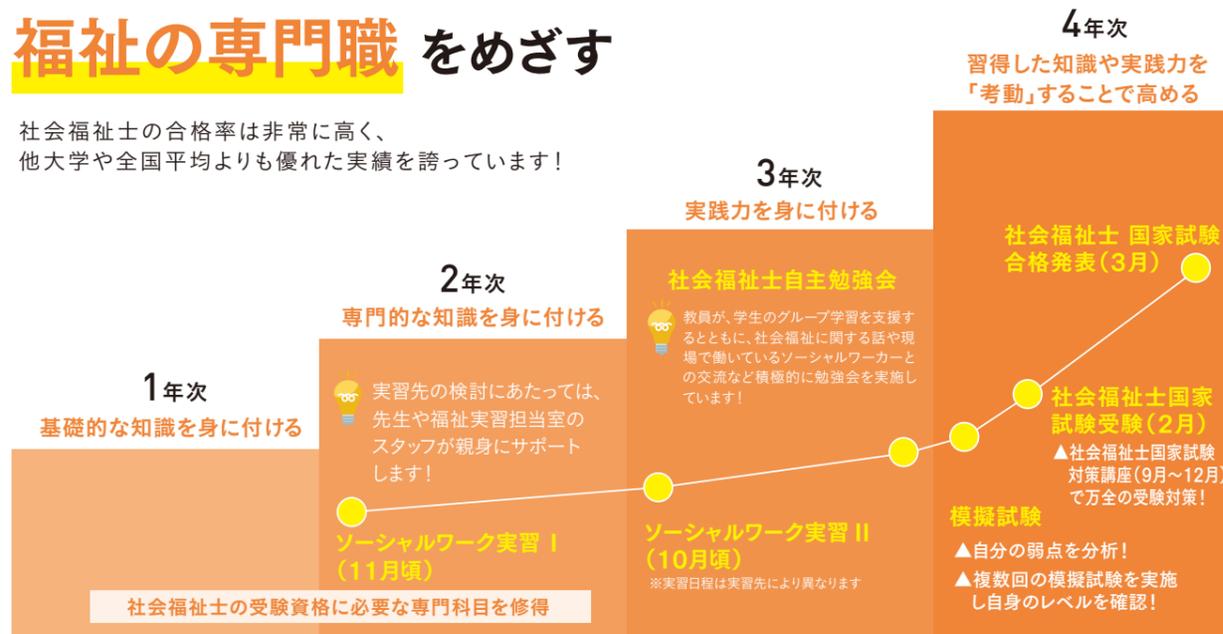
1年次	2年次	3年次	4年次
<p>社会福祉の現状を学び、無数の課題の存在に気づく。</p> <p>「社会福祉概論」という講義で、福祉を理解する上での基礎知識を学びました。現在の日本社会を福祉の目線からとらえると、解決すべき課題が山積みになっていることを知りました。</p>	<p>地域福祉の課題解決をめざしてアイデアを提案。</p> <p>社会福祉士をめざし始める一方で、現在の社会課題の一つである空き家問題をめぐる企業のインターンに参加。淡路島の空き家を再生するアイデアを資料にまとめ、地域福祉の解決をめざしました。</p>	<p>日本とは異なる環境で幸せとは何かを改めて考えた。</p> <p>インドネシアで2週間実施された、人間健康学海外研修に参加。複数の宗教が混在し、開発途上で環境整備も不十分でしたが、たくさんの人々が笑顔で暮らしていることが印象に残っています。</p>	<p>4年間で得た経験と実感を卒業論文にまとめる。</p> <p>長期インターンなどの経験とともに、若年層の地域貢献活動の必要性について、卒業論文を作成中。タイバ・コスバを超えた経験がその後の人生を豊かにすることを伝えたいです。</p>

岩崎さんの時間割をwebでも紹介しています。



福祉の専門職をめざす

社会福祉士の合格率は非常に高く、他大学や全国平均よりも優れた実績を誇っています！



将来の職業イメージ例

- 社会福祉専門職
- 福祉関連企業 など

福祉と健康コースでは、一定の要件を満たせば社会福祉士国家試験の受験資格を取得することができ、国家試験対策のための講座や自主勉強会も定期的で開催しています。福祉実習担当室では、社会福祉士をめざす学生のみなさんがスムーズに安心して国家試験の受験に必要な実習が行えるよう、専門スタッフが全面的にサポートしており、手続きや各種情報提供などを行っています。



DATA



社会福祉士国家試験合格率

92.2% **47人が合格**

※2025年3月卒業生実績

人間健康学部のカリキュラム

＼ 心、からだ、くらしの健幸を実現 /



人間健康学プログラム群

4つの副専攻プログラムから自分の興味や目標に応じて専門性を高めるために、授業科目を自由に受講することができます。

人間関係学プログラム	ユーモア学プログラム	地域デザイン学プログラム	臨床心理学プログラム
レクリエーションなどの体験学習法と、ソーシャルワークなどの社会福祉学に関する科目を学びます。	健やかで幸せな暮らしを構成するユーモアと笑いについて、その特徴と機能を専門的に学びます。	グローバル化する世界の動向を踏まえて、地域社会に根差してローカルに活躍できる人材を育成します。	臨床心理学の基礎から多様な分野での応用まで幅広く学び、「こころの健康」について理解を深めます。
科目例 人間関係学入門、コーチング論、レクリエーション支援論、コミュニケーション演習、グループダイナミクス演習 など	科目例 ユーモア学入門、笑いの文学、笑いの民俗学、レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ など	科目例 地域デザイン学入門、スポーツ文化論、スポーツ経営学、国際健康福祉実習(各テーマ) など	科目例 臨床心理学入門Ⅰ・Ⅱ、スポーツ心理学、福祉臨床心理学、臨床心理実習、ストレスとセルフコントロール など

国際的な学び

人間健康学部独自の国際留学プログラムは、**国際健康福祉実習**・**人間健康学海外研修**で展開しています。

国際健康福祉実習	人間健康学海外研修
<p>ハワイ</p> <p>現地大学での健康福祉の講義や社会福祉施設の見学、レクリエーションプログラムなど、地域福祉の現状を体験的に学びます。</p> <p>インドネシア</p> <p>現地学生と児童養護施設の施設改善プロジェクトへ参画し、日本語授業やスポーツを通して現地の高校生と交流を通じてグローバルな視点を養います。</p> <p>スウェーデン</p> <p>福祉先進国スウェーデンの福祉関連施設の見学や政策に関する講義、障がい者武道プログラムを通してその実態と国際福祉について体験的に学びます。</p> <p>インドネシア</p> <p>バリ島、ジョグジャカルタにて開催されるサマーキャンパスに2週間参加し、異文化交流を通じて人間健康学の知識と技術を養います。</p>	<p>国際部の留学プログラムについて詳しくは こちら!</p>

留学インタビュー

インドネシア 国際健康福祉実習

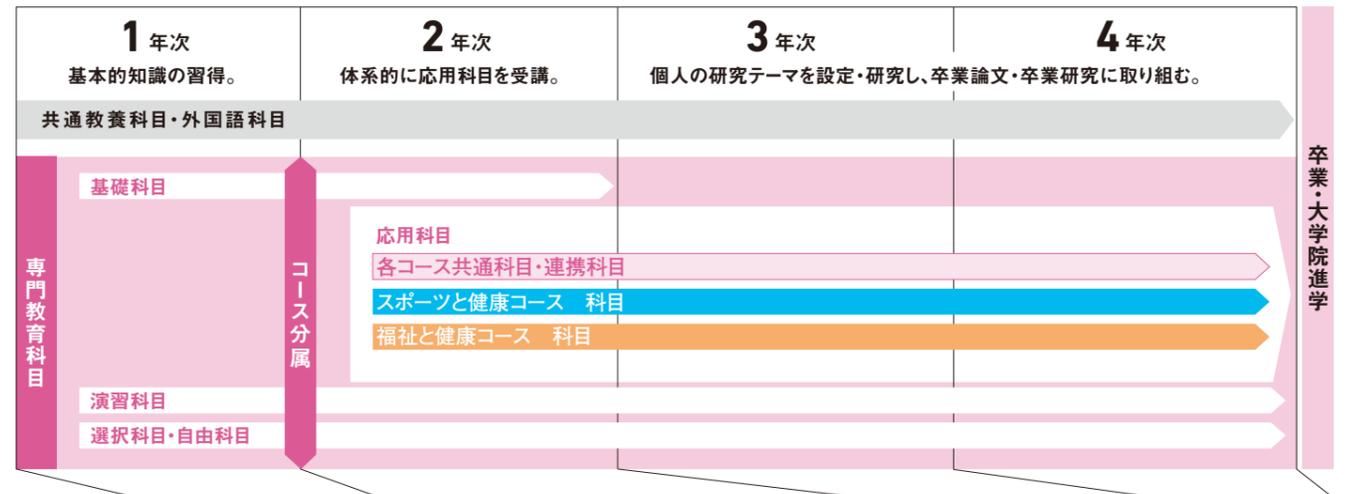
「現地施設の現状を知り、子どもたちの姿に感銘を受けました。」

スポーツと健康コース 2年次生 **山口 貴子さん**
岡山/私立岡山学芸館高校出身

現地児童養護施設を訪れ、子どもたちの食事や寝ている場所など、どんな環境で生活しているのか実際に視察することができました。決して満足とは言えない衛生環境の中で、真面目に勉強し丁寧に掃除するインドネシアの子どもたちの姿にとても心を動かされました。また、日本の児童養護施設について自分の勉強不足を痛感する機会にもなりました。

国際部の留学プログラムについて詳しくは [こちら](#)!

学びのプロセス



基礎科目	各コース共通 人間健康論 スポーツと健康 健康支援の社会システム 身体文化と健康	身体表現と健康 健康の文化史 体育史 こころと健康	衛生学及び公衆衛生学 社会福祉概論 医学一般 当事者福祉論	精神保健福祉論 臨床心理学入門Ⅰ・Ⅱ スポーツ生理学 救急安全法	社会福祉政策Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ ユーモア学入門 笑い与健康	人間関係学入門 地域デザイン学入門 社会調査法 介護概論		
応用科目	各コース共通 (からだと健康を考える) スポーツ原理 スポーツ教育学 スポーツ栄養学 運動処方論 グループダイナミクス演習 ● 臨床バイオフィードバック 体力科学 (こころと健康を考える) スポーツ心理学 ● 身心教育学 身体表現論 武道論 学びの身心技法 福祉臨床心理学 ● 生殖心理学 ● 共感と多様性 ● メンタルヘルスと臨床心理学 ● 地域支援と心理学 ● 臨床心理学特定課題Ⅰ・Ⅱ (くらしと健康を考える) 身体の文化人類学 人間行動論 笑いの文学 ● 笑いの民俗学 ● 笑いの行動学 ● リハビリテーション論 フィールド調査法 家族福祉論 ● 臨床死生学 ● コミュニケーション演習 ●	スポーツ運動学 スポーツ社会学 スポーツ経営学 ● スポーツ医学 学校保健	生涯スポーツ論 スポーツ感性学 コーチング論 ● スポーツ文化論 ● スポーツ動作の仕組みと制御	レクリエーション支援論 ● ● ● スポーツ統計学 トレーニング論 ●	(からだと健康を考える) 地域スポーツデザイン演習 ● (こころと健康を考える) 身体文化論 心理学演習 ● ● ● 子育て支援の心理学 ● 臨床心理学特定課題Ⅲ・Ⅳ (くらしと健康を考える) 福祉レクリエーション論 ● ● ● 老人・障害者の理解 社会福祉調査法 ユーモアコミュニケーション演習 ●	スポーツ方法学 障害者スポーツ論 ● 地域スポーツデザイン論 ●		
専門教育科目	健康コース スポーツと健康コース	福祉と健康コース	連携科目	演習科目	選択科目	自由科目		
	スポーツと健康コース スポーツ方法実習Ⅸ(球技2) 寄附講座(各テーマ) 臨床心理実習 ● 国際健康福祉実習(各テーマ) ● 人間健康学海外研修(各テーマ) 国際健康福祉論(各テーマ)	福祉と健康コース ソーシャルワーク論Ⅲ～Ⅵ 高齢者福祉論 子ども家庭福祉論 障害者福祉論 公的扶助論	テーマ研究Ⅰ・Ⅱ(各テーマ)	導入演習 基礎演習	スポーツ方法実習Ⅰ(陸上競技) スポーツ方法実習Ⅲ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅶ(ダンス) スポーツ方法実習Ⅷ(球技1) 野外教育実習(野外活動) ● トレーニング実習Ⅰ・Ⅱ 健康運動実習Ⅰ・Ⅱ レクリエーション実技Ⅰ ● ● ● 身体表現Ⅰ・Ⅱ 運動処方実習 予防医学 ストレスとセルフコントロール ● ● カウンセリング心理学Ⅰ ● ● ソーシャルワーク演習Ⅰa・b ソーシャルワーク実習指導Ⅰa・b ソーシャルワーク実習Ⅰ	専門演習Ⅰ・Ⅱ 卒業演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文 卒業研究	スポーツ方法実習Ⅱ(水泳) スポーツ方法実習Ⅳ(武道1) スポーツ方法実習Ⅴ(武道2) スポーツ方法実習Ⅹ(球技3) スポーツ方法実習Ⅺ(球技4) 地域スポーツ演習 ● 実技研究 健康運動指導演習 野外活動特別演習 ● 増進科学演習 複雑性社会における自己実現 ● カウンセリング心理学Ⅱ ● ● ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅱ 社会福祉制度研究Ⅰ・Ⅱ(各テーマ)	ソーシャルワーク演習Ⅲ 社会福祉制度研究Ⅲ・Ⅳ(各テーマ)
	教職概説 教育原理	教育制度論 人権教育論 教育心理学 特別活動論 道徳教育の理論と方法 教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用を含む) 教育相談論	保健体育科教育法(一)・(二) 学校経営と学校図書館 情報資源組織論 図書館情報資源概論 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	特別支援教育論 カリキュラム開発論 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育実習事前指導 保健体育科教育法(三)・(四)	教育実習(一)・(二) 教職実践演習(中等)			

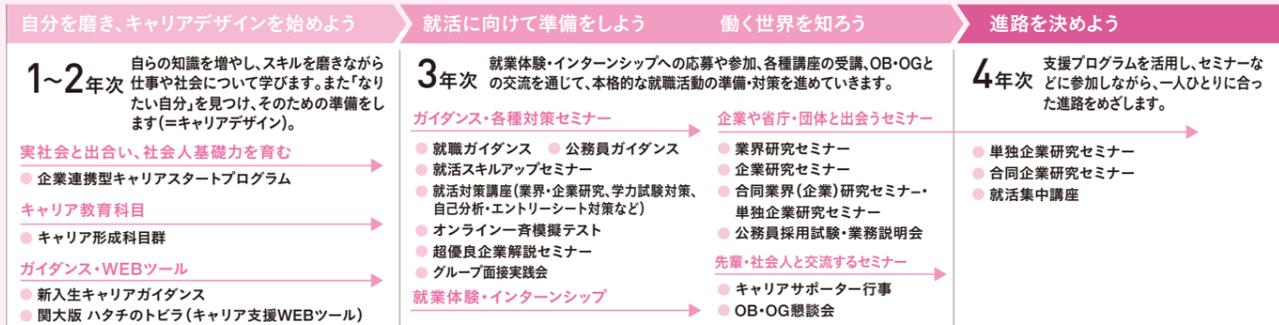
●人間関係学プログラム ●ユーモア学プログラム ●地域デザイン学プログラム ●臨床心理学プログラム
※このカリキュラムは2025年度のもので、※公認心理師等の資格を取得できるプログラムではありません。

キャリアデザイン

充実したキャリアサポート

キャリアデザインとは、自分がどのように仕事(キャリア)と関わり合っていくのかを構想(デザイン)することです。人間健康学部で「健幸」を学ぶことは、社会のさまざまなフィールドで活躍するために必要な広い視野、そして実践的な知識を獲得することにつながります。

▶ キャリア形成、就職活動支援プログラム



▶ キャリアセンター堺キャンパス分室

キャリアデザインをサポートするため、就職や進路選択に関するさまざまなキャリア、就職支援プログラムを実施

人間健康学部生の就職・進路相談の拠点。就職支援プログラムの実施や各種情報提供を行っています。学生一人ひとりに対して親身になって相談に乗ってくれる専門スタッフが常駐しています。相談は対面またはオンラインでの利用が可能です。



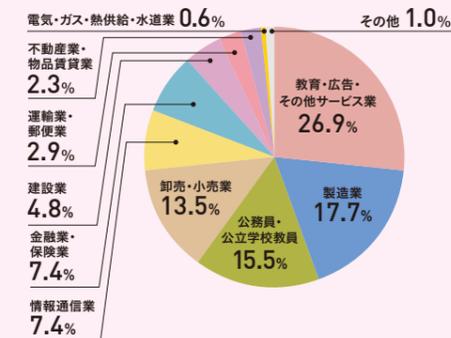
就職実績

人間健康学部の2024年度就職率は、99.7%(男子99.3%、女子100%)と、例年通り高い実績を上げることが出来ました。公務員・教員採用試験や社会福祉士合格者も多く、学部での学びを生かした就職・進路をとる者が多いのが特徴です。

▶ 就職率



▶ 業種別就職状況



▶ 卒業生の就職先一例(2024年度卒業生実績)

※企業・団体の名称は、2025年4月現在のものによる。

教育・広告・その他サービス業(私立学校教員含む)	JR東日本スポーツ、コナミスポーツ、セコム、関西光学学園 関西福祉大学、JTB、オリエンタルランド、ダスキン、ベネッセスタイルケア、マイナビ、近鉄・都ホテルズ、京都大学、社会医療法人生長会、社会福祉法人高知市社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、社会福祉法人大阪福祉事業財団、社会福祉法人姫路市社会福祉協議会、社会福祉法人北摂杉の子会、大阪府立病院機構
製造業	Meiji Seika ファルマ、NTN、TOTO、アイリスオーヤマ、アサヒグループ食品、エア・ウォーター、グラクソスミスクライン、コカ・コーラ ボトリングジャパン、ススキ、セメダイン、デサントジャパン、パナソニックグループ、キーエンス、クボタ、スノーピーク、アルペン、ヤクルト本社、レゾナック、神戸製鋼所、淀川製鋼所、吉野石膏、山崎製パン、四国化成ホールディングス、住友理工、象印マホービン、大建工業、東レ、日世
公務員	国家公務員一般職、大阪府職員、兵庫県職員、大阪市職員、堺市職員、神戸市職員、和泉市職員、茨木市職員、吹田市職員、豊中市職員、東大阪市職員、生駒市職員、大阪府教員、大阪府教員、藤井寺市教員、兵庫県教員、奈良県教員、和歌山県教員、島根県教員、福岡県教員、大阪府警察官、東京消防庁、西宮市消防吏員
卸売業・小売業	JFE商事、アズワン、キャンノンマーケティングジャパン、コーセー化粧品販売、因幡電機産業、アルペン、ザナックス、ヤマダホールディングス、岩谷産業、興和、青山商事、日本酒類販売
情報通信業	JCOM、ニッセイ情報テクノロジー、DTS、サンテレビジョン、テレビ朝日、大塚商会、日本総合研究所、吉本興業ホールディングス、日本放送協会(NHK)
金融業・保険業	ソニー損害保険、かんぽ生命保険、伊予銀行、紀陽銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、滋賀銀行、静岡銀行、千葉銀行、南都銀行、住友生命保険、大和証券
建設業	リンナイ、旭化成ホームズ、LIXIL、一条工務店、積水ハウス
運輸業・郵便業	ANA大阪空港、阪急電鉄、西日本旅客鉄道(JR西日本)、南海電気鉄道、日本郵便
不動産業・物品賃貸業	関電不動産開発、南海不動産
電気・ガス・熱供給・水道業	ENEOSグローブエナジー、東京ガス

卒業生インタビュー

教員や社会福祉専門職はもちろん、人間健康学部の学部生は、「健幸(well-being)」に関する幅広い知識と地域連携活動による実践的な学びを生かし、さまざまな分野で活躍しています。

人間健康学部で取得できる資格

■ スポーツと健康コースで取得できる資格 ■ 福祉と健康コースで取得できる資格

- 社会福祉士国家試験 受験資格※1
- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者※3
- レクリエーション・インストラクター
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- 健康運動指導士 受験資格
- 初級バラスポーツ指導員
- 司書教諭※2
- 健康運動実践指導者 受験資格

※1 福祉と健康コースの定員は100名です。 ※2 司書教諭の資格取得に関する科目を履修する場合は、千里山キャンパスでの受講が必要です。 ※3 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

- 任用資格(公務員として採用され、特定の職業ないし職位に任用されるための資格)
- 社会福祉主事
- 児童福祉司
- 身体障害者福祉司
- 知的障害者福祉司

取得できる資格の一例

健康運動指導士・健康運動実践指導者

活躍できる職種 フィットネスクラブ、病院、介護老人保健・福祉施設など

認定団体:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

保健医療関係者と連携し、個人々に対応した運動プログラムを作成する(健康運動指導士)、医学的基礎知識に基づき健康づくりのための運動プログラム実践指導を行う(健康運動実践指導者)といった活動を通し、その知識・技能を生かして人のサポートをする資格です。

公認スポーツ指導者

活躍できる職種 総合型地域スポーツクラブ、学校など

認定団体:公益財団法人 日本スポーツ協会

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンターの考えのもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する資格です。

レクリエーション・インストラクター

活躍できる職種 幼児保育・学校、高齢者福祉施設など

認定団体:公益財団法人 日本レクリエーション協会

子どもから高齢者まで幅広い対象に向けて、スポーツや集団遊び、野外活動といったレクリエーション活動を効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった「こころの元気づくり」を行う資格です。

初級バラスポーツ指導員

活躍できる職種 地域スポーツクラブ、学校など

認定団体:公益財団法人 日本バラスポーツ協会

障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援したり、健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える資格です。



2016年3月
スポーツと健康コース 卒業
田中 尚輝さん
(大阪/私立大阪体育大学浪速高等学校出身)

岸和田市立光明小学校 勤務

子どもたちの成長を実感しながら、障がいをもつ児童の自立支援をしています。

今年度は支援学級を担任しており、個別または少人数での学習指導のほか、児童が自分でできることを増やせるように、普段の生活や学校の活動に必要な支援を行っています。また、社会のルールやマナーを学び、社会性を身に付ける手助けもしています。日々の業務を通して、障がいをもつ児童の自立支援をする部署だけでなく、施策や制度などの政策的な部分に関わるような、間接支援をする部署もあります。また、大阪市は規模が大きいので、幅広い分野の福祉関係業務に携わることができるところも魅力です。

**現在に生きている
在学中の経験は?**

現在の仕事においては、子どもたちの心の変化の様子、しぐさから感じ取りながら寄り添う指導を心がけています。在学中に身体と心のつながりについて学び、表出・表現について知識を深めることができたことが現在に生きています。

おすすめの授業

体育史

客観的かつ多角的な視点が身に付きました

古代オリンピックを題材に、幅跳びの記録が現在の競技としての記録よりも好記録であることについて、さまざまな角度で考察しました。客観的、多角的な視点をもつことの大切さを学んだことが、現在につながっています。

受験生へのアドバイス

「新しい自分を見つけてください」

人間健康学部では、今の世の中で少なくなっていく「人と人とのつながり」を大切にしている。自分を見つめ直し、周りの人とのつながりを深く考えることで、人として大きく成長していただきたい。



2020年3月
福祉と健康コース 卒業
永井 優衣さん
(奈良/県立欽徳高等学校出身)

大阪市役所 勤務

大阪市の福祉職員としてさまざまな形の支援を通して視野を広げています。

大阪市の福祉職員として、入庁当初は区役所で生活保護のケースワーク業務を行っていましたが、5年目に福祉局障がい福祉課に異動となりました。現在は、主に障がいのある方の就労支援に関する取り組みの推進をしています。大阪市には、当事者への対人援助などの直接的な支援をする部署だけでなく、施策や制度などの政策的な部分に関わるような、間接支援をする部署もあります。また、大阪市は規模が大きいので、幅広い分野の福祉関係業務に携わることができるところも魅力です。

**現在に生きている
在学中の経験は?**

国際健康福祉実習でインドネシアに行き、そこで幸せの形が多様であることを感じて、相手の置かれた状況を想像する力が高まりました。社会福祉士として働く現在、その想像力をベースに当事者の支援を行うことができていると感じます。

おすすめの授業

ソーシャルワーク演習

グループワークで発展的に対話できました

課題に対する自分の考えを発表し、他の学生の意見を聞いて質問をし、発展的な対話をした演習が印象に残っています。他人の意見を否定せず傾聴し、対話することで自分の潜在的な考えを知る機会にもなりました。

受験生へのアドバイス

「福祉への思いが“信念”に変わります」

人間健康学部では、福祉についてこころから感じる事ができる授業が組み込まれているので、考え方が豊かになると思います。私は、人間健康学部で学ぶことで福祉が大好きになり、今もその志を忘れず、自信をもって働くことができています。

キャンパスカレンダー

人間健康学部でのキャンパスライフでは、
自分の目標にチャレンジし、地域や世界と関わる機会に満ちています。
さまざまな学びと体験を通して、自分らしい進路を切り拓いてください！

▶ 人間健康学部の1年(2025年度予定) 行事日程等は年度により変動します
▶ 両コース ▶ スポーツと健康コース ▶ 福祉と健康コース

4月	春学期授業期間 (4月上旬～7月下旬)	▶ 入学式(千里山) ▶ 新入生指導行事(堺) ▶ 新入生オリエンテーション(上旬)
5月		▶ 教育実習(中旬～実習先によって異なる)
6月	夏季休業 (8月上旬～9月20日)	▶ 堺キャンパス祭(下旬)
7月		▶ 春学期末定期試験(下旬) ★サマーキャンパス堺(オープンキャンパス)
8月	秋学期授業期間 (9月21日～1月下旬)	▶ 人間健康学海外研修(インドネシア)
9・10月		★チャレンジキャンパス堺(オープンキャンパス) ▶ 社会福祉士国家試験対策講座開始(9月) ▶ 社会福祉士国家試験模擬試験(10月)
11月	春季休業 (2月上旬～3月31日)	▶ 統一学園祭(千里山)(上旬) ▶ ソーシャルワーク実習開始(10月～11月下旬) 2年次(60時間)、3年次(180時間)のソーシャルワーク実習を行います。 ▶ 社会福祉士国家試験模擬試験(11月)
12月		▶ 社会福祉士国家試験直前対策講座 ▶ 卒業論文提出・卒論発表会 ▶ 社会福祉士国家試験模擬試験(12月)
1月	▶ 秋学期末定期試験(下旬) ▶ 研究成果報告会(卒業研究)	
2月	▶ 国際健康福祉実習(ハワイ・インドネシア・スウェーデン) ▶ 社会福祉士国家試験	
3月	▶ 卒業式(千里山)・学位記授与式(堺)(中旬)	

SAKAI CAMPUS 堺キャンパス



堺キャンパスのさらに詳しい施設情報は
こちらから!

堺キャンパス蔵書数
56,071冊
※2024年3月現在

▶ 大学院人間健康研究科について

スポーツと社会福祉の研究を通じて、人間と社会の健康づくりに貢献する
本研究科では、既存の体育・スポーツ系研究機関が主目的としてきたスポーツ競技力の向上だけでなく、身体活動やスポーツ、そして福祉のソーシャルワークを通じて人間の健康や幸福の促進をめざす研究や実践を重視しています。これは、健康増進法やスポーツ基本法、また社会福祉法などの理念とも通じており、スポーツとソーシャルワークの2つの観点から健康(health)と健幸(well-being)を地域社会で実現することをめざすものです。本研究科ではスポーツおよびソーシャルワークを通じた社会関係資本の蓄積や、健康増進および健康福祉支援事業の実践を推進できるような人材を育成します。中学校・高等学校の保健体育科専修免許状をもつ指導的教員や、関連分野における高度専門職業人を養成し、さらにはNPOやNGOといった市民活動のリーダーを輩出することが目標です。同時に、社会問題を解決に導くのに必要な学際的な視野と実践力をもった研究者を育てます。

教員紹介

人間健康学部の専任教員と主な研究分野をご紹介します。

スポーツと健康コース

■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例

<p>神谷 拓教授 ■ 体育科教育学 ■ スポーツ教育学 ■ 運動部活動における自治体活動の意義と課題 ■ 異質協同のグループ学習の分析 — 中学校の水泳授業を対象にして —</p>	<p>小室 弘毅教授 ■ ホリスティック教育学 ■ 身心教育学 ■ 日本の健康至上主義を問い直す—幸福な国々の「死生観」から見る健康— ■ 生きるためのファッション—ファッションを読む— ■ 見えない空気を考える—エンタメにおける人の雰囲気と場の空気—</p>	<p>雑古 哲夫教授 ■ バイオフィードバック ■ 運動生理学 ■ 緊張を抑制し、最高のパフォーマンスを ■ 過緊張がスポーツに及ぼす影響力</p>
<p>志岐 幸子教授 ■ 感性論 ■ スポーツ感性学 ■ プロ野球におけるユニフォームの色彩と競技成績 ■ ソフトテニス競技におけるゾーン状態時と平常時の脳血流量の比較検討</p>	<p>澁谷 顕一教授 ■ 運動生理学 ■ スポーツ栄養学 ■ 認知科学 ■ 運動時の筋疲労に関する研究 ■ 競技パフォーマンスと栄養摂取に関する研究 ■ 外的刺激がヒトの認知に与える影響についての研究</p>	<p>谷所 慶教授 ■ 健康・スポーツ科学 ■ レジャースポーツの指導に関する調査 ■ 運動習慣やトレーニングが腎臓形状に及ぼす影響</p>
<p>灘 英世教授 ■ 救急安全 ■ トランスジェンダーのスポーツ参加についての考察 ■ 身体疲労がスリーポイントシュートの成功率に及ぼす影響</p>	<p>西山 哲郎教授 ■ スポーツ社会学 ■ 文化社会学 ■ 日本のプロ野球とスポーツメディア ■ 競泳を「見るスポーツ」として普及させるための大会企画</p>	<p>原田 純子教授 ■ 舞踊教育学 ■ 舞踊学 ■ 創作ダンスの体験における変化と成長 — 授業における質問紙調査と作舞体験より — ■ 舞踊作品における衣装の役割</p>
<p>彦次 佳教授 ■ スポーツ老年学 ■ スポーツアプローチ ■ スポーツ社会学 ■ 野球グラブへの愛着がプレーに及ぼす影響について ■ 高齢者の健康状態と足の状態の関連性について ■ アップ中の音楽鑑賞が選手の心理的競技能力と心理状態に与える影響</p>	<p>村川 治彦教授 ■ 宗教学 ■ 身体文化論 ■ 屋台を通して地域交流—大学周辺の浅香山地域の問題解決と共に— ■ 生態系を守る協生農法の実践—持続可能な農業を目指して</p>	<p>森 仁志教授 ■ 文化人類学 ■ 文化史 ■ 革新的なアイデアを生み出す方法 ■ 女子サッカーの普及 — セレブ大阪堺レディース・プロジェクト —</p>
<p>安田 忠典教授 ■ 人間健康論 ■ 多文化共生社会の実現に向けて—大学生による国際交流イベントの開催 ■ 南海電鉄との協働による社会課題解決への挑戦</p>	<p>浦井 忠昭教授 ■ 健康・スポーツ科学 ■ レクリエーション ■ レクリエーション活動が認知症高齢者に及ぼす効果 ■ レクリエーション活動が大学生の身体活動量、ストレス、気分および体調に及ぼす影響</p>	<p>弘原 剛教授 ■ 運動生理学 ■ 運動処方 ■ 炭水化物マウスリンスが運動パフォーマンスに及ぼす影響 ■ パブリカキサンフィル摂取が認知機能に及ぼす影響</p>
<p>浦 和男准教授 ■ 比較文学 ■ 比較文化論 ■ アートとユーモアの関係性 ■ スポーツ指導におけるユーモアの必要性</p>	<p>佐野 加奈絵准教授 ■ 骨格筋メカニクス ■ スポーツバイオメカニクス ■ 運動学 ■ 競技種目や役割の違いが下肢筋形状に及ぼす影響 ■ 長距離選手の高い走効率を可能とする走動作の特徴</p>	<p>久保 友美特別任用准教授 ■ 地域デザイン学 ■ スポーツが他世代交流に与える影響について ■ スポーツを活用した地域人材教育のアプローチについて</p>
<p>秋原 悠特別任用助教 ■ 健康・スポーツ科学 ■ スポーツ運動学 ■ チームビルディング(コーチング) ■ 体組成と体力テストの関係 ■ スクワット時の足幅とパフォーマンスの関係 ■ 体験学習前後の人間関係やコミュニケーションスキルについて</p>		

福祉と健康コース

■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例

<p>植田 紀美子教授 ■ 公衆衛生学(障がい児者) ■ 小児臨床遺伝学 ■ 母子保健学 ■ 障がいのある方やそのご家族の心身の健康と生活 ■ マルトリートメントからみた妊娠からの子育て支援</p>	<p>岡田 忠克教授 ■ 社会福祉政策 ■ 社会福祉協議会から見る地域の特性とこれからの課題 ■ 児童虐待防止に向けて—親子の支援と家族再統合の必要性—</p>	<p>種橋 征子教授 ■ 高齢者福祉 ■ 介護福祉 ■ 福祉経営 ■ 認知症高齢者と家族の支援 ■ 介護職員の働きやすさ</p>	<p>所 めぐみ教授 ■ 地域福祉論 ■ ソーシャルワーク ■ 福祉教育 ■ 人と人がつながる地域づくりを目指した福祉教育のありかた ■ 和歌山県有田市でのフィールドワークから— ■ 再犯者に対する自立支援の考察—特別調整支援を受ける高齢出所者の語りから考える—</p>
<p>西川 知亨教授 ■ 福祉社会学 ■ 社会病理学 ■ 社会的相互作用論 ■ ソーシャルワークにおける監視とコントロールの権力論 ■ アクション・パトリアニムから見る日本の死生観</p>	<p>福田 公教教授 ■ 社会福祉学 ■ 子ども家庭福祉論 ■ 里親登録者数増加に向けて—ひとり親家庭の現状と支援における今後の課題</p>	<p>姜 民護准教授 ■ こども家庭福祉 ■ 家族福祉 ■ ソーシャルワーク ■ 親の離婚を経験したこどもの福祉のあり方—面会交流を中心に— ■ 被虐待児における親子再統合の意味</p>	<p>森田 亜矢子准教授 ■ 心理学 ■ 認知科学 ■ ユーモア・ことば・色彩とデザイン ■ 音と音楽の心理学 ■ コミュニケーションと人間関係の心理学</p>

心理学系

■ 研究分野

<p>石田 陽彦 教授 ■ 教育臨床 ■ 地域臨床心理学</p>	<p>岡田 弘司 教授 ■ 臨床心理学・臨床心理学的アプローチ</p>	<p>香川 香 教授 ■ 臨床心理学 ■ メンタルヘルス</p>	<p>北村 由美 教授 ■ 福祉臨床心理学 ■ 発達臨床心理学</p>
<p>小海 宏之 教授 ■ 臨床心理学 ■ 神経心理学</p>	<p>千賀 則史 教授 ■ 臨床心理学 ■ 心理療法統合 ■ 統合的アプローチ</p>	<p>寺嶋 繁典 教授 ■ 臨床心理学(心理アセスメント、投映法) ■ ストレス・マネジメント</p>	<p>中田 行重 教授 ■ ロジャース派の心理療法 ■ PCA/PCT ■ 地域臨床を含む心理支援</p>